

卒業生の就職後状況調査

本校は平成24年度からの「文部科学省委託事業 東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業」の指定校をはじめ、宮城県の指定校を継続的に受けております。

しかし現在も、若者の早期離職とその後のキャリアデザインは、大きな課題として取り上げられております。

本校は、宮城県中小企業家同友会等、外部機関との連携も含め、各企業等の事業所との密接な連携等を通じて、若年者の早期離職およびその後のキャリアデザインについての対策を積極的に行っております。

例えば、進路指導部の連携コーディネーターや心のケア支援員は、永年の社会および職業経験等を生かし、就職後の定着指導およびその後キャリアデザインの重要性を訴え続けております。

また、本校卒業生の就職後の早期離職等に対応するためのデータ等の情報収集も一層促進しております。卒業後9年以内の卒業生を対象とした就職先の定着状況や離職状況（その後の再就職等も含む）について、事業所や卒業生に対し、対面及び電話による聞き取り調査を進路指導部の担当教職員全員で実施し、実態の把握に努め、課題解決を目指して日々努力しております。

生徒のキャリアデザインの意識を向上させ、早期離職の防止を目指しております。

なお、この調査自体は、高校卒業後の人生の方が遙かに長く、学校と社会との接続が大きな課題と言われている中で、大変意義のあるもので、また、大変貴重なデータであると感じております。

